

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・平日の学生の来客数が、増加している。また、バレンタイン商戦では、多くのOLやファミリー層が来店したため、売上が大きく増加した。
		一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・業務店への販売量が増加したため、前年の売上を上回ることができた。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・全体的には消費が活発になってきたとの実感はないが、「物産展」などのイベントに来た客は、以前より、財布のひもが緩く、衝動買いが増えている。
		スーパー（店長）	それ以外	・通年より、ひな祭り商材の動きが活発であると共に、単価の動きも3か月前と比べて少しではあるが高く推移している。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・オリンピックなどの影響で、買物の単価が多少上昇している。
		衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・施設によって、ばらつきはあるものの、例年に比べ、客の購買意欲がおう盛であり、単価が上昇し、売上が増加している。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・前年と比べ、テレビ、DVDレコーダーなどの販売台数が上昇し、多少良くなっている。また、冷蔵庫の販売量は10%ほど増加している。
		乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・年初に発表があった新車への関心と購買意欲が高く、来店客も増えている。
		乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・新発売のスポーツユーティリティークル（SUV）車の人気が高い。
		乗用車販売店（営業担当）	販売量の動き	・来客数が多く、販売量は、前年比で先月の113%から引き続き106%となり、良くなっている。
		観光型旅館（経営者）	お客様の様子	・来客数はあまり伸びてはないが、客は少し料金が高くても消費するという傾向がうかがえる。特に、日帰り客の様子から、少しはお金を使おうという感じがしてきている。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・賃貸マンションへの投資が少し増えてきている。
		住宅販売会社（従業員）	来客数の動き	・自営業者や医療関係者などの高所得者の来店が増えている。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	競争相手の様子	・土地の価格は引き続いて低下しているが、同業者の話によると、契約件数が徐々に増えている。
変わらない		商店街（代表者）	来客数の動き	・大型店の撤退により町内に食料品店が無くなり、1日の利用客の約2000人が周辺に分散している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・ブランド商品や婦人プレタ、紳士デザイナーズなど的高级衣料が苦戦し、前年に比べ来客数及び売上共に若干減少している。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・客の動向として、いいものを買う客は高額でも購入するが、不要な物は一切買わないという傾向が明確である。
		スーパー（企画担当）	単価の動き	・客単価、客数は、前年比で3%程度減少している。商品別では、衣料品は婦人衣料が前年並みのほかは、5%程度の減少、住居関連商品は総じて悪い（7%減少）。食品は鮮魚が前年並みを確保したが、他の生鮮、加工食品は3～6%減少している。
		スーパー（統括担当）	競争相手の様子	・競争相手の売上が落ちており、安売り合戦になっている。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・近くに新しくコンビニが開店したため、来客数が予測より少なくなっている。また、店の周りをもて、人の流れはあまり活発でない。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・冬物最終セールと春物のセット販売を強化しているが、どちらも実需に伴う単品買いが多く、客単価の上昇にはつながらない。
		乗用車販売店（管理担当）	販売量の動き	・新型車の注文はあるが、その分、他の車種が減少し、総販売台数は増加していない。

	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・3月下旬からゴールデンウィークにかけての旅行相談の来店客は多かったが、今月の売上は、例年とあまり変わりなく低水準である。4月～6月の団体旅行の営業を積極的に展開しているが、見積提出まで至っておらず、少し出足が遅い。東京への航空券はほぼ例年通りで推移した。	
	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・キャンペーンを実施しても、販売数が伸びない。	
	観光名所（経営者）	来客数の動き	・ここ数が月前年と比べ、観光客が微減している。	
	観光名所（職員）	来客数の動き	・入場者数が減少している。	
やや悪くなっている	一般小売店〔酒〕（販売担当）	お客様の様子	・大寒波の影響を受け、ビールを中心に取引先料飲店への販売数字は10%以上減少した。外で飲まず、家庭で飲む人が多いのか、店頭販売の清酒、焼酎、第3のビールなどの販売量は増加したが、全体をカバーすることは出来なかった。	
	スーパー（店長）	来客数の動き	・野菜の相場が一段落し、酒の低価格傾向が顕著になった。来客数がそれほど増えないなか、相場全体が低下している。	
	乗用車販売店（従業員）	競争相手の様子	・他社も当社同様に販売が非常に苦しい状況でやっており、全体の伸びがない。	
	タクシー運転手	単価の動き	・一回当たりの単価が低く、中距離の利用客が減少気味である。	
	タクシー運転手	来客数の動き	・夜、飲みに出る人が少ないため、タクシーに乗車する客は少なく、沢山のタクシーが客待ちで並んでいる。	
悪くなっている	一般小売店〔生花〕（経営者）	競争相手の様子	・どの同業者に聞いても、売上がかなり落ち込んでいる。	
	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・まとめ買いをする客が減ってきている。	
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・夕方になると、予約以外の客はバッタリと止まる。	
企業動向関連	良くなっている	通信業（支店長）	受注量や販売量の動き	・前年度と比較すると、市場が拡大している。
	やや良くなっている	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・展示会に出展をしたが、多くの新規取引先との商談が進んでいる。小売店、専門店も消費マインドが上向いており、質の良いものを求め、扱い商材を増やすため、取引拡大を目指している。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・大型物件ではないが、産業用工場の設備の受注が増えている。特に、電気機械や化学関連からの受注が増えている。
		通信業（営業担当）	それ以外	・量販店、大型スーパーの店長との会話の中で、プチゼイタク化の傾向が顕著にみられ、日用品は安価な商品でも、高額商品を自分へと購入することを楽しんでいる客が最近増えているといった話を良く聞く。
変わらない	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・新商品の導入で増加となっているが、既存品があまり伸びていない。	
	木材木製品製造業（経営者）	取引先の様子	・建築業は相変わらず低調に推移しているが、耐震偽装問題が出てから、その傾向が更に強まった。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・建設用クレーンの引き合いは相変わらず強い。特に西日本地区では、大型クレーンの長期稼働現場が多く、台数不足による備車がままならない状況にある。	
	金融業（融資担当）	取引先の様子	・経営基盤が県内にある中小零細企業は、公共工事の減少、消費の低迷から抜けきれず、景気の底ばいの状態が続いている。	
	広告代理店（経営者）	受注量や販売量の動き	・商材の引き合いはあるが、価格は下落しており、仕事量に対して売上が伸びる要素が少ない。	
やや悪くなっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・前年と比較し、受注が減少している。その中でも家庭紙とギフト分野の受注が悪い。	
	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注が非常に少なく、厳しくなっている。	
悪くなっている	建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・中規模の公共建築工事が3月中に完成すれば、公共工事の受注残高はゼロになる。	

雇用 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	人材派遣会社 (支店長)	求職者数の動き	・求職件数が非常に多くなっている。また、派遣よりも正社員の雇用形態へとする傾向が非常に強くなっている。
		求人情報誌製作 会社(従業員)	雇用形態の様子	・業務請負及び派遣業の募集が、若干増えてきている。
		職業安定所(職 員)	求職者数の動き	・減少傾向にあった求職者数が、就職への期待感の高まりから、ここにきて増加に転じている。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数が前月比で46.2%増加している。
		職業安定所(職 員)	求人数の動き	・新規求人数のうち一般求人は横ばいであるものの、パート、派遣、請負の求人の動きが顕著であり、前年同月と比べて、6か月連続で増加している。
	変わらない	民間職業紹介機 関(所長)	求職者数の動き	・求職登録者数は、前年と変わらない。
やや悪く なっている	-	-	-	
悪く なっている	-	-	-	